

みやまの風

令和7年12月23日(火)発行

園長 津田 将美

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

未来を創る

ぽかぽかと温かい陽ざしが降り注ぐ気持ちの良い日、バスから降りてのんびりと寄口ウバイ園に向かいました。落ち葉やどんぐりなど、季節を感じさせる風景、環境が子どもたちの顔を生き生きと輝かせてくれているようです。

寄小学校のおにいさん、おねえさんといっしょに、ロウバイの植樹をさせていただきました。保護者の皆様、小学校の子どもたちと交流しながらの植樹は、未来へつながる正に創造的な行事でした。寄口ウバイ部会の方々が丁寧に準備してくださり、ふもとのロウバイ畑をさらにふもとへと広げる作業でした。

植える苗はロウバイ部会の方々が準備してくださり、植える場所も耕してくださってからの作業でしたが、やはり根っこがすっぽりと入る穴を掘るのは大変で、子どもも大人もじっとりと汗をかきながらがんばりました。

「手伝ってあげるよ！」

と助けに来てくれたのは、自分たちの苗を植え終わった小学生たち。さすがに体も大きく成長した小学生たちは、たくましく見えます。いっしょに穴を掘ると、作業もどんどん進みます。

自分たちの最初に植えたロウバイには、子どもたちの自分たちの想いを残したという願いのこもったネームプレートを付け、残りの植樹もみんなで協力して行いました。

「ありがとう。」

「みんな、がんばったね！！」

声をかけ合い、植樹作業終了。

最後に全員で、植えたばかりのロウバイ園を背景に、記念写真を撮りました。子どもも大人も、満足感いっぱいの笑顔でした。そんな笑顔を見ていると、今年度初めて行ったロウバイの植樹が今後もずっと続いていってくれるといいな…、と思いました。

何年後かのロウバイの植樹で、小学生になった5人の子どもたちが、やさしく園児たちに植樹を教える様子を想像すると、何だかわくわくします。大人になって家族と共にロウバイ園を訪れ、

「これは、お父さん(お母さん)が植えたロウバイだよ。」なんて姿を思い描いて、また笑顔になりました。

11日には、寄小学校へ交流でうかがいました。毎年思うのは、これも未来へつながる行事だということです。小学校では本当に丁寧に準備してくださり、歓迎の想いがあたたかく伝わってきます。迎える小学生も、毎年ひと回りもふた回りも成長した姿を見せてくれます。

毎年繰り返されることも決して同じではなく、その年その年の彩りが積み重なることで、寄の良さをさらに輝かせてくれているようです。



寄 松田



二学期の風景

異学年交流種目（合同運動会に向けて）

今年の運動会は、「つなひき」や「たまいれ」など異学年交流を積極的に取り入れました。主体的に課題を見つけ話し合う力が、学年を越えてつながり、しっかりと育まれていることを感じました。また、松田幼稚園との交流が深まりました。



藍染め体験

藍染めの会の方の指導を受け、藍染め体験を初めて行いました。藍の栽培から始めて、収穫、染料づくり（藍建て）、染色、水洗い等すべての工程を体験しました。

おうちの方との共同作業で、素敵な藍染めが出来上りました。前向きで真剣なご協力、ありがとうございました。



収穫の喜び

畑の神様、神谷さんの指導の下、今年もたくさん野菜を育て、収穫しました。経験を重ねごとにスキルも上がり、上の学年の子が下の学年の子に教える姿も板についてきました。

スイートポテトづくり

自分たちで植え、お世話をして収穫したお野菜の味は格別です。さらに自分たちで調理したともなると、夢と希望が大きくふくらんでいきます。

スイートポテトを焼くオーブンを見つめる子どもたちの目も、真剣そのものです。

早く、食べたいなあ…



寄小学校へ招待されました

小学生のおにいさん、おねえさんたちの成長した姿を目の当たりにし、小学校へのあこがれの気持ちも大きくなりました。たくさんの準備、心のこもった応対ありがとうございました。

おみやげもたくさんゲットして、大満足の一日となりました。